

クロノロジー

～ ジャパン・プラットフォームの地震当日 ～

出動決定まで

3月11日

14:46 地震発生（助成審査委員会の開催中）。その後も断続的な強い余震。
JPF事務局のスタッフ・備品に被害なし。スタッフ家族への安否確認

15:56 有馬・長 両代表理事（+木山 次期代表・4月1日就任予定）へメール報告

16:13 JPF関係者へメールリングリストでJPF被害なしを連絡。各NGOらの安否の照会

～ 各JPF加盟NGOに対応状況の照会

17:32 JPF出動決定（マグニチュード9.0の大地震から2時間46分後）
非常時はメールや電話といったもちまわりの常任委員会だが、
今回は電話が通じず（現に携帯は全く通じなかった）
あるいは常任委員会メンバーが避難して連絡が取れない可能性がある。
今回は両代表理事と常任委員長および事務局の三方の連絡がとれており、
両代表理事承認ということで決定し、動き出し、後から常任委員会の承認を
もらうこととした。
なお、財源は当面、民間資金（民間の緊急支援準備金）を充当する。

出動決定後の動き

17:41 JPF出動決定を対外発信（支援者へメール、ウェブなど）

17:45 ソフトバンクモバイルより携帯電話の無償貸出のお申し出

18:20 プレスリリース発信

18:38 寄付金口座の設置。寄付の呼びかけ開始

- 18:49 三菱東京 UFJ 銀行より JPF 寄付金口座への振込手数料無料化のお申し出
- 18:59 パブリックリソースセンターより “ Give One ” を通じたオンライン寄付立ち上げのお申し出
- 19:28 三井物産より（初動対応費用として）JPF へ 1,000 万円拠出決定の連絡
- 19:30 ~ JPF 学生ネット OB や元事務局スタッフが、続々と応援のため事務局入り
- 20:12 連絡が取れていなかった常任委員（石井、加藤、山口）へ事務局よりメールで承認のお願い

20:44 出動決定団体（AAR、ADRA、CF、NICCO、PWJ）を对外発信

- 21:09 事務局の週末における対応体制を確定
- 23:40 初動対応における決裁権の整理
事務局長が不在（4月1日着任）であるため、事務局から提案して両代表理事の了解を得て、以下の通り対応することとした。
事務局長の代理決裁可能な案件（原則 300 万円以下、派遣スタッフ 3 人以下、14 日間以内）は、事務局長不在中の権限代行者（長代表理事）から、事業部長の椎名に決裁権限を移譲する。
通常の事務局長決裁を超える案件についてはメール審議で、
ただし全員と連絡がとれずに時間切れとなりそうな場合は、
両代表理事の承認がとれればよいとすることとした。
- 23:45 在日のいくつかの大使館に英語版のプレスリリースを発信
今まで世界各国で人道支援を展開してきた JPF なので、各国政府との関係性を考慮
JPF の強みである、英語での情報発信、後日に英語での活動報告が可能であること
- 23:55 花王より JPF へ 1,000 万円拠出決定の連絡

3月12日

- ~ 00:45 電車が復旧したスタッフから帰宅（帰宅困難者の審査委員 2 名は JPF 事務局で仮眠）
- 00:55 鈴木重広 次期事務局長（4月1日着任予定）から問い合わせとねぎらいのため NY から国際電話
- 01:30 日産自動車より JPF へ 3,000 万円拠出決定の連絡

この時点で JPF 事務局は 5 名体制で初動対応

以上